



淡路夢舞台国際会議場ニューズレター

2007
秋号
VOL.30
平成19年10月発行
兵庫県立淡路夢舞台国際会議場
兵庫県淡路市夢舞台1番地
電話 0799 74-1020
FAX 0799 74-1021
<http://www.yumebutai.org>



秋天や
最も高き
木が愁う
夕雨



コスモスの
揺れ返すとき
色乱れ
何子

爽やかな風
高く澄んだ空
色づく木々と草花...
柔らかな陽の光さす
淡路島より
会議・イベント情報をお届けします

写真上：妙勝寺の大楠(淡路市)
写真下：あぜ道のコスモス(洲本市)
撮影 松林 真弘

開催に寄せて

2007年10月～2008年3月開催予定の主な会議一覧

会議名	主なお問い合わせ先
10月	
2nd International Symposium on Atomic Technology	大阪大学工学研究科原子分子イオン制御理工学センター
The 8th International Symposium on Chromosomal Aberrations	国立医薬品食品衛生研究所
特定領域研究 超階層制御班会議	奈良先端科学技術大学院大学
奈良先端科学技術大学院大学物質創成研究科博士論文中間審査会	奈良先端科学技術大学院大学物質創成研究科
日本広東経済促進会	日本広東経済促進会事務局
11月	
ITあわじ会議	兵庫県
誘電体研究委員会	財団法人科学技術振興会
第13回日米誘電体・圧電体セラミックスセミナー	富山県立大学工学部
第59回兵庫県中学校長会研究協議会淡路大会	兵庫県中学校長会事務局
アジア青年建築交流会議	神戸芸術工科大学
第6回北東アジア標準協会会議	財団法人日本規格協会
トーストマスターズ秋季大会	トーストマスターズ実行委員会
国際景観園芸フォーラムin淡路	財団法人淡路花博記念事業協会
日本文化デザイン会議2007兵庫 淡路地域会議	2007年兵庫実行委員会
大阪大学VBL若手研究交流合宿	大阪大学先端科学イノベーションセンター
国際シンポジウム「メンブレントラフィック」	長浜バイオ大学バイオサイエンス学部
12月	
2nd International Workshop on "Materials Science and Nano-Engineering"	大阪大学大学院基礎工学研究科
3rd International Symposium on Chemistry of Coordination Space (ISCCS2007)	京都大学大学院工学研究科
1月	
第2回糖尿病療養看護セミナー～夢舞台meeting～さきがけ研究「RNAと生体機能」領域会議	大阪糖尿病協会顧問医会 独立行政法人科学技術振興機構
2月	
2007～2008年度国際ロータリー第2680地区淡路グループIntercity Meeting	津名ロータリークラブ
3月	
第3回Bay Area Gut Club	兵庫医科大学

※上記は都合によりキャンセル・変更される場合があります。

◆周辺施設のイベント情報◆

好評開催中!

淡路花祭2007秋

10/28 まで

★淡路夢舞台★ <http://www.awajihanahaku.or.jp>

奇跡の星の植物館
秋色ガーデンショー
～伝統園芸ルネサンス～ 11/11(日)まで

プロムナードガーデン 百段苑
秋変華プロムナード 秋の華飾り

★淡路島国営明石海峡公園★
<http://www.kokueiakashi.go.jp>

コスモス大花壇

予告

◆11/17～1/14
光と花のページェント
2007 in 淡路夢舞台

奇跡の星の植物館
クリスマス
フラワーショー

淡路花祭の会場など北淡路の観光スポットをお得に巡る

10/28(日)まで

花バス運行

1日乗車券で乗り降り自由!

1,000円(税込)

お問い合わせは TEL.0799-62-5222

第13回日米誘電体・圧電体セラミックスセミナー 13th US-Japan Seminar on Dielectric and Piezoelectric Ceramics

4-7 Nov. 2007



組織委員会
日本側実行委員長
富山県立大学工学部
教授

安達正利

2007年11月4日(日)～7日(水)に、第13回日米誘電体・圧電体セラミックスセミナーが開催されます。本セミナーは、2年ごとに日本と米国で交互に開催されている誘電体・圧電体の基礎、材料及び応用に関する専門家の集まりであり、すでに25年の実績を有する日米間の由緒ある研究会です。第1回が1982年に東京(六本木)、第2回が1984年にウイリアムズバーグ(米国)で開催され、それ以降、2年ごとに日米交互に開催されています。今回の淡路島夢舞台国際会議場において開催するのが第13回目となります。

誘電体・圧電体応用の分野は、ますます広がり、技術的要求も高くなっています。それに対応するために日米双方の研究者が一堂に会して、同じ宿舎を共にすることを基本に、研究発表、討論、交流を通して、エレクトロセラミックスの科学と応用に関する理解を深め、実用化の上で基本的に解決すべき問題点を深く具体的に討論し、相互の技術の発展に寄与することを目的として本セミナーが企画され、その趣旨が今日まで続いています。

本セミナーでは、10件の招待講演と約100件のショートプレゼンテーションおよびポスター発表が行われます。

<http://www.fml.pu-toyama.ac.jp/~2007usjapan/>

国際シンポジウム「メンブレントラフィック」

27-29 Nov. 2007



実行委員長
理化学研究所
チームリーダー

大野博司

2007年11月27日(火)～11月29日(木)、国際シンポジウム「メンブレントラフィック」(実行委員長:理化学研究所チームリーダー・大野博司、シンポジウム委員:京都大学教授・中山和久、大阪大学教授・吉森保)が開催されます。脂質2重膜からなる輸送小胞が仲介する「メンブレントラフィック」は細胞の生命活動に必須であるだけでなく、神経伝達物質やホルモンの分泌、病原微生物などの取り込みと抗原提示など高等多細胞生物特有の高次機能にも重要であり、その破綻が種々の疾患に直結することが知られています。本シンポジウムでは、「メンブレントラフィック」に焦点を当て、国内・国外で高い成果を挙げている研究者を迎えた講演と若手研究者や学際的研究を展開する境界領域の研究者からのポスター発表を行い、メンブレントラフィックの分子機構と生理的・病理的意義を論議する予定です。本シンポジウムがこの研究分野のさらなる発展の大きな契機になることを期待しております。



シンポジウム委員
京都大学
教授

中山和久



シンポジウム委員
大阪大学
教授

吉森 保

開催を終えて

第14回アクティブマトリクスフラットパネルディスプレイ国際ワークショップ (AMFPD)

11-13 Jul. 2007

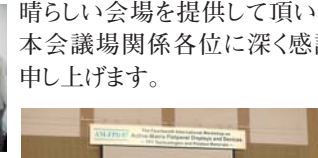


実行委員長
独立行政法人産業技術総合研究所
太陽光発電研究センター
産業化戦略チーム長

増田 淳

本ワークショップは、液晶ディスプレイを中心とするアクティブマトリクス型フラットパネルディスプレイに関する国際会議です。有機エレクトロルミネセンスディスプレイをはじめとする新規ディスプレイ技術などの育成も視野に入れ、本会議の略称が昨年よりAMLCDからAMFPDに改称されました。本国際ワークショップは毎年国内で開催されており、兵庫県での開催は1996年の神戸以来となります。今回は自然豊かで風光明媚な夢舞台を会場とさせて頂き、国内外からの200名を超える参加者には、会場の魅力を十分堪能して頂けたと思います。参加者の多くが同じホテルに宿泊され、特に通常セッション終了後に催されたランプセッションでは、白熱した討論はもとより、研究者間のコミュニティの発展にも大きく貢献できました。さらに、大画面の薄型テレビがお茶の間に普及している昨今、本国際ワークショップがこれまでに果たしてきた役割が非常に大きいこと、さらに今回の会議にて議論した内容が本研究開発分野における新しい1ページを刻んだことは、出席者一同疑う余地がないものです。このような素晴らしい会場を提供して頂いた本会議場関係各位に深く感謝申し上げます。

催されたランプセッションでは、白熱した討論はもとより、研究者間のコミュニティの発展にも大きく貢献できました。さらに、大画面の薄型テレビがお茶の間に普及している昨今、本国際ワークショップがこれまでに果たしてきた役割が非常に大きいこと、さらに今回の会議にて議論した内容が本研究開発分野における新しい1ページを刻んだことは、出席者一同疑う余地がないものです。このような素晴らしい会場を提供して頂いた本会議場関係各位に深く感謝申し上げます。



淡路島五色町出身の作詞家・作家 阿久 悠さん逝く

昭和を代表する作詞家で作家の阿久 悠さんが、今年8月1日に尿管癌のため亡くなりました。70歳でした。40年の作詞家人生で残した作品は5000曲を超え、シングルの総売上枚数は6,818万枚で作詞家歴代1位を誇るそうです。また出身地であるここ淡路島を舞台に、自身の少年時代を綴った小説「瀬戸内少年野球団」は、故夏目雅子さんを主演に映画化され話題となりました。心よりご冥福をお祈りします。

◆ご存知ですか？

淡路島出身の有名人

【学問】

田中正平(音響学・物理学者、純正調オルガン発明)
三島徳七(冶金学者、MK磁石発明者)
大内兵衛(経済学者、元東京大学名誉教授)
岩野泡鳴(自然主義派五大作家の一人)

【政治】

桑島省三(日露戦争における海軍中将)
永田秀次郎(元東京市長、淡路初の大蔵大臣)
樋口季一郎(日中戦争、太平洋戦争における陸軍大将)
原健三郎(元衆議院議長、作家)

【産業・経済】

高田屋嘉兵衛(司馬遼太郎「菜の花の沖」のモデル)

井植歳男(三洋電機創設者)
三木善八(報知新聞社主、新聞界四巨頭の一人)

【芸術】

明 兆(日本画家)
植村文楽軒(文楽創設者)
鶴澤友路(淡路人形浄瑠璃三味線奏者、人間国宝)

【芸能・スポーツ】

阿久 悠(作詞家、作家)
堀井雄二(ゲームシナリオライター、代表作ドラゴンクエスト)
渡 哲也(俳優)
渡瀬恒彦(俳優)
山口 崇(俳優)
笹野高史(俳優)
大地真央(女優)
上沼恵美子(タレント)
宮地真緒(タレント、NHK連続ドラマ小説「まんてん」ヒロイン)
加地 亮(Jリーグ選手)

第25回内分泌・代謝学サマーセミナー The 25th JES Summer Seminar on Endocrinology & Metabolism

17-19 Jul. 2007



会長
神戸大学大学院医学系
研究科
細胞分子医学
教授

清野 進

第25回内分泌・代謝学サマーセミナーは2007年7月17日～19日の2日間にわたり、兵庫県立淡路夢舞台国際会議場において開催されました。今回のセミナーは骨格形成のバイオロジー、 β 細胞の分化・再生についての最新知見、核内受容体の最前線、エネルギー恒常性の神経性・液性制御の4領域をテーマとし、特別講演として細胞の分化・発生や分子イメージングについて、世界をリードする研究者を国内外から招聘し、最新の研究成果についてご紹介いただきました。特に今年は若手研究者がプログラムを企画し、オーガナイザー、演者も若手研究者を積極的に起用しました。また、本セミナーでは初の試みとして英語を公用語としましたが、大学院生、ポスドクを含む若い研究者の間でよく自然に英語による活発な討論が展開される様子は極めて印象深いものでした。おかげさまで国外演者4名を含む参加者は100人にものぼり、たいへん活気のある会となりました。若い人々のやる気を大いに刺激したという点で、本セミナーの趣旨は十二分に達せられたものと思います。ここに会議場やホテルのスタッフの皆様にも厚く御礼を申し上げます。



6月～9月に開催された主な会議

MPSoC 2007 (6月)	ショウジョウバエ研究会 第8回研究集会 (7月)	2nd International Symposium on Mobiligence in Awaji (7月)	浅田共創知能システムプロジェクト 研究発表会 (7月)	12th International Symposium on Novel Aromatic Compounds (7月)	第8回アジア太平洋フォーラム・ 淡路会議 (8月)	CDAMS国際シンポジウム 法・市場・水平的秩序 (8月)	第37回全国珠算学校集合 研修会 (8月)	第7回あわじしま感染症・ 免疫フォーラム (9月)	The 8th Annual Symposium "Japanese Society for the Advancement of Women's Imaging" (9月)

交通アクセス



淡路夢舞台国際会議場のスタッフ紹介

今号から当国際会議場のスタッフを順不同に紹介させていただきます。初回は松林コンファレンス部次長。淡路島で生まれ育ち、前職は銀行マン。当会議場開業以来、会議誘致を担当し、営業のリーダーとして、また現在は会議支援課長を兼任してコンファレンス部内を取りまとめています。私の知る限りでは山野草採集、写真(アジェンダ表紙写真も担当しています)と、いくつか趣味を持っているようですが、中でも根っからの「釣りキチ」で、仕事での営業活動とプライベートでの野外活動のためか一年中日に焼けています。この「スタッフ紹介」初回を記念し、本人からの寄稿を掲載します。(為後順子)

釣り—私の趣味



コンファレンス部次長
松林真弘

いつもご利用ありがとうございます。会議誘致担当の松林真弘です。

さて、今回は私の趣味についてお話したいと思います。個人の趣味というものは千差万別ですが、興味のない第三者からは「なんと無駄な」とか、「理解に苦しむ」とか、「ほとんど病気」などという言葉で片付けられてしまうのが落ちです。大抵の場合、他人どころか家族の者にすら同様に扱われてしまうのが世の常であります。ところが、外野からどう言われようと当の本人は意に介さず、自らの病状にも気づかず、我が道を行くものです。少々、前置きが長くなってしまいました。私の趣味は「釣り」と「釣り関係文献の蒐集」です。実釣の方は、荒磯のグレ釣り、清流のアマゴ・イwana釣りと20年ほど彷徨い歩いた挙げ句、ここ5年間は野池のヘラ鮒釣りに憑かれております。一方、古書蒐集の方はと言いますと、明治・大正・昭和から現代に至るまで、ジャンルを問わず集めた釣り関係古書が3千冊あまりといった病状です。勿論、家人からは「また行くの?」とか、「全部読めるの?」とか言われておりますが、本人はそんな愚問には返事もせず、心の中で「見たらわかるやろ!」とか「一生かかっても読めんわ!」などと嘯いているわけです(注:あくまでも心の中で...)。

さて、釣師が釣り上げた魚の話は古今東西あてになりませんので、ここでは割愛させていただきます。何故なら、釣り上げられた魚というのは、日々確実に成長するからです。30cmなら1週間で40cm以上に、1ヶ月も経てば見事な50cmオーバーの大物に変身するものです。開高 健氏などは、「釣りの話をする時は、両手を縛っておけ」という名言を残している程です。そこで、今回は偽りのない釣り関係古書についてご紹介したいと思います。



写真: 左「釣師・釣場」:昭和35年新潮社刊
右「青嵐随筆九十五点主義」:昭和10年
実業之日本社刊

淡路島といえば、昔から釣りが盛んな土地柄です。文人釣師であった、かの井伏鱒二氏が洲本市由良沖で鯛釣りをした経験を名著「釣師・釣場」に残しております。ところが、地元の人間で釣りに関する文章を残した人物が見あたりません。そこで、色々文献を探してみましたところ、永田秀次郎という名前が浮かび上がってきました。永田秀次郎、俳名は青嵐といい、明治9年に現在の南あわじ市(旧三原郡)に生まれました。戦前に東京市長や鉄道大臣を歴任した大物官僚です。彼が残した著書の一つに「青嵐随筆 九十五点主義」という書籍があります。根っからの釣り好きだったようで、東京市長への就任要請に対して、「日曜日は釣りに行くので仕事はしない」という条件を呑ませたというエピソードまで残っています。「何事にも完全無欠というものは少ない、もし強いて完全無欠を求めむとすれば、そこに無理が伴う事は免れない」と書いてあるように、仕事も趣味も100点よりは95点の方が

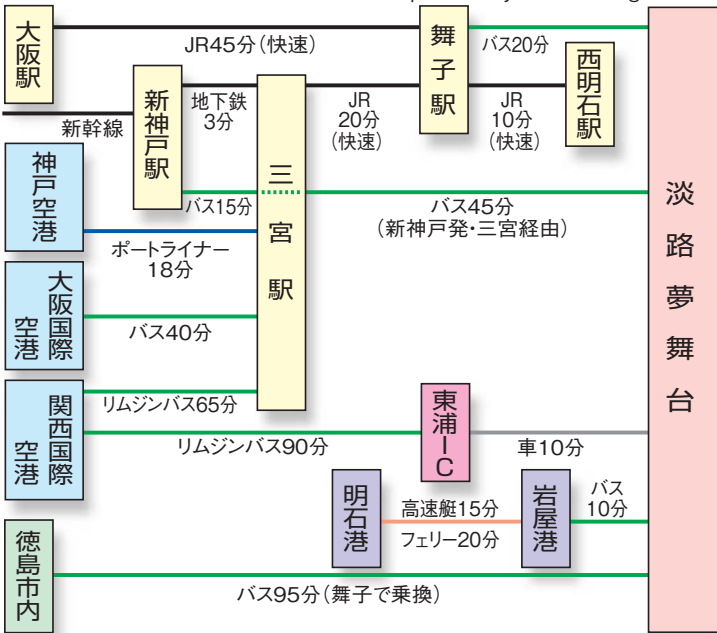


青ギスの脚立釣り(昭和初期)
写真:佐藤 垢石著「垢石傑作選集」より

方がほどほどが良いという意味でしょうか(秀才の青嵐らしいレベルの高い話で、私などはいつも60点取るのにも必死です...)。遠く淡路島から離れ、生まれ故郷の海を想いながら釣り糸を垂れたのでしょうか。青嵐が好んだ青ギスの脚立釣りは、戦争が始まるまでは東京湾の風物詩だったとか。永田青嵐、私の最も愛する釣り師です。

公共交通機関

▶ 運賃、時刻表等、詳細はHPをご覧ください。
<http://www.yumebutai.org>



ご利用料金(税込)

会議室名称	面積(m ²)	利用料金(円)			
		9時~12時	13時~17時	9時~17時	
メインホール	580	90,000	120,000	209,000	
イベントホール	481	75,000	100,000	174,000	
アンフィシアター	275	45,000	60,000	105,000	
レセプションホール	A	127	22,000	30,000	51,000
	B	258	44,000	58,000	101,000
会議室	311	179	15,000	20,000	35,000
	301	173	15,000	20,000	35,000
	405	91	8,000	11,000	18,000
茶室	A	90	18,000	24,000	42,000
	B	10	3,000	3,000	5,000
合計(全館利用)			407,000	539,000	927,000

※他に会議室・討議室・控室等18室を4,000円(9~17時)からご用意しております。ご利用にお得な制度もございます。詳しくはお問い合わせ下さい。
淡路夢舞台国際会議場 TEL:0799-74-1020

あとがき

長く厳しい残暑がようやく落ち着いたかと思うと一気に秋の色が濃くなってまいりました。とりわけ暑かった今年の夏のある日、突然飛び込んできた阿久 悠さんの訃報。作品を調べてみると、「北の宿から」「勝手にしやがれ」「津軽海峡 冬景色」「UFO」「宇宙戦艦ヤマト」「ウルトラマン・タロウ」をはじめ、私が子供の頃に流行った歌謡曲、今でも口ずさむことのできる名曲が名を連ねます。まさに「淡路島が生んだ偉大な人」であったと改めて感じました。(為後)